



ほけんだより

8月号



2021年8月2日
昭和ナースリー
看護師

猛暑が続いています。子どもたちは、暑さの中でも夢中になって遊ぶので、水分補給には十分に気を配りましょう。暑いと体力が落ちて、食欲が湧かないことや、つい冷たい物ばかりを食べてしまうことがあります。暑さに負けない身体づくりをするためにも、しっかりとご飯を食べられる工夫をしましょう！

虫よけ剤の成分を選んで、正しく使うために・・・



※世田谷保健所生活保健課資料参照

	含有率	効果①	制限	備考
ディート	5~10%	1~2時間	6か月未満 → 使用不可	<ul style="list-style-type: none"> ・ツツガムシを含む幅広い虫に効果あり ・独特の匂い ・年齢や使用回数に制限あり
	12%	3時間	6か月~2歳未満 → 1日1回	
	30%	6時間	2~12歳未満 → 1日1~3回	
イカリジン	5%	~6時間	制限なし②	<ul style="list-style-type: none"> ・肌への刺激が少ない・服の上から使える ・蚊、ブヨ、マダニ、アブのみ (ディートほど多くの虫に効かない) ・1日何回でも使える
	15%	6~8時間		
精油 アロマオイル	効果が確認されているのは、ユーカリ油(レモンユーカリ油)のみ。 ユーカリ油は3歳以下の子供に使用しないよう、アメリカ疾病対策センター(CDC)が発表している。			

ナースリーでは防蚊対策の一つとして、戸外へ行く時のバギーには吊るすタイプ等の虫よけを使用しています。また、園庭では蚊取り線香を使用しています。防虫ネット上着等(フードなし、紐なしタイプ)を用意していただいた場合は、散歩中に着用することもできます。

●スプレータイプの虫よけ剤について

お子様が体内に吸い込むと、アレルギーや喘息を誘発する恐れがあるため、園では使用しません。お子様に合ったものを登園前にご自宅でスプレーしてから登園して下さるようお願いいたします。

●シールタイプの虫よけ剤(虫よけパッチ等)について

ひよこ組 : 使用しない。(剥がしたり、誤飲の恐れがあるため)
うさぎ・くま組 : 使用する場合はご自宅から貼付してきてください。
貼付している場合は、登園時に保育士にお伝えください。貼り替えは行いません。

虫刺されの手当て

- ① 水でよく洗い流す
- ② 虫刺されの薬をつける
(刺された直後につけるのが効果的)
- ③ かゆみや腫れがひどい時は、冷やす
- ④ 爪を短く切る(とびひの予防)



昭和ナースリー7月の感染症報告

- 感染症の報告はありません。

職員向けに心肺蘇生法の研修を行いました😊



『万が一のとき、救急隊が到着するまで平均およそ9分*。
その9分間で、私たちが最大限出来ることを。』

※総務省消防庁資料参照

ナースリーの先生たちと一緒に、0歳児、1・2歳児の心肺蘇生法を確認しました。意識・呼吸が無い場合、ただちに胸部圧迫を開始することで、命を救うだけでなく、その後の後遺症や障害の程度を軽くすることができます。冷静に対応できるよう、常に知識・技術の研鑽に努めてまいります。